

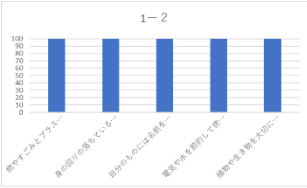
令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：芦北町立佐敷小学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>○年度初めに設定した5つの宣言項目を、ゴミステーションと各教室に掲示し、児童がISO宣言を身近に感じることができるようにした。</p> <p>また、週に一度、環境委員会の児童が担当クラスに行き、ISO宣言のチェックや周知、環境保護のための行動を呼びかけた。低学年にも分かりやすく説明するように心掛けた。</p>
行動	   	<p>○昨年までは、環境委員会が各クラスを回ってゴミ集めを行っていた。本年度は、全校児童にゴミの分別に対する意識を持ってもらうため、各クラスにISO係を設置し、学級ごとに集めたゴミをゴミステーションに持ってきてもらうことにした。</p> <p>○地域人材の活用（食育の一環）として、1・2年生はJAの方に植え方を教えていただき、一緒にさつま芋の苗を植えた。収穫した芋は給食に使用し、全児童で味わうことができた。また、低学年は冬野菜の育て方についても教えていただいたり、質問に答えていただいたりして、興味関心を高めることができた。</p> <p>○4年生は、豪雨災害の復旧・復興の一環として栽培実証に取り組んでいる「加工用ばれいしょ」の収穫体験を行った。復旧・復興の取組や農業への関心を持つことができた。</p> <p>○佐敷小学校が自然あふれる学校になるために、環境委員会が中心となって栽培活動を行った。栽培した花の一部は、芦北町総合コミュニティセンターと佐敷駅に寄贈する予定である。</p> <p>○冷暖房の設定温度を必要以上に上げ下げしないようにする一方、感染症拡大防止も考慮するために、養護教諭と連携して、適切に温度管理や換気ができるよう、ドアや窓に換気の幅の目安を設置した。</p>
記録		<p>○毎週火曜日に燃やすゴミ、木曜日に容器包装プラを各学級のISO係がゴミステーションに運ぶことにした。環境委員会は、ゴミを受け取り、きちんと分別できているかチェックを行った。ゴミの分別ができている学級には緑のカード、できていない学級には紫のカードを渡し、各学級で報告と掲示をすることで改善を呼びかけた。</p> <p>○毎週金曜日に、環境委員会の児童が担当クラスに行き、ISO宣言のチェックと呼びかけを行った。</p>

見直し	 <p>12月のふりかえり 全部の環境チェックが全員できていたのでこのまま がんばっていきましょう。</p>	<p>○金曜日に環境委員会の児童が、各学級でどれだけISO宣言を意識して取り組めたかの調査を行っている。週に一度の間隔で自分の行動を振り返ることで、日常的な意識化を図るようにした。ほとんどの項目で目標を達成していた（80%以上の達成率）。また、月に一回程度、達成率をグラフ化し、環境委員会の児童がコメントを書いたものを各学級に配付した。</p>
-----	---	--

（２）成果と課題

成 果	課 題
<p>本年度から、各学級にISO係を設置し、ゴミを持ってくるようようにしたことによって、自分のクラスのゴミの量や分別に関心を持つ児童が増えたように感じる。年度当初は、よごれた袋やストローなどが容器包装プラの中に入っていることがあり、環境委員会の児童が1つ1つ取り出す作業をしていたが、分別意識の高まりにより、ほとんどのクラスが継続して、ゴミの分別がよくできた緑のカードをもらえるようになった。</p> <p>また、毎週、環境ISO宣言のチェックと周知を行った。結果をグラフ化したものを各学級にフィードバックしたことで、環境ISO宣言への意識が高まり、学校全体として主体的に活動に取り組むことができた。</p>	<p>昨年度に引き続き、感染症の予防で換気や手洗いの機会が多いこと、特別教室棟の暖房の効きが悪いこと等から、冷暖房の設定温度について達成できないことが多かった。</p> <p>また、夏は野菜や花等の栽培活動を全学級で取り組むことができていたが、冬は植物や生き物を育てる活動があまりできなかった。</p> <p>今後は、本年度できなかったことを踏まえて、児童の実態に合わせたより良い活動を計画し、実践していきたい。</p>